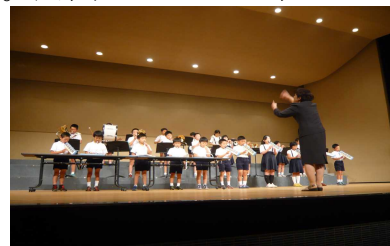


6月16日松任文化会館で小学校音楽会がありました。4月から練習してきた金管の発表です。大きな舞台でみんな一所懸命に演奏していました。周囲からは「一年生なのに上手にピアノを弾いているね」「金管をうまく弾けるのはすごいね」という声が聞こえてきました。子ども達は、精一杯やった充実した顔でした。うれしいですね。金管は、7月の白山まつりのパレードに向けてもうひとぶんばりというところです。子ども達のがんばっている姿をご覧ください。



先日の授業参観と非行被害防止講座たくさんの皆様のご参加ありがとうございました。子どもへの教育に少しでも役立てていただけたらと思います。

5日には、救急救命法の講習があります。またよろしく申し上げます。

「お子さんの安全基地になっていきますか？」

これは、先日行われた県教育委員会主催の「学びの態度」育成講習会での、東京大学大学院教育研究科の遠藤利彦氏の講演のタイトルです。この中に「自立と自律」の大切さにつながるお話がありましたので、ご紹介します。

子どものよい成長や、将来の学歴や仕事の支えや社会的成功に結びつくには、認知力（計算や漢字、問題を解くなどのいわゆる一般的な学習）はもちろん大切だが、それを身に付け、自分をよりよくするための『非認知能力』を身に付けることがとても重要であるということです。学習での頭のよさよりも非認知能力を身に付けたからより成功につながったとも言われるほどです。この非認知能力とは、以下の力です。

◎目標を達成するための「忍耐力」「目標への情熱」「意欲」「粘り強さ」「計画性」

◎他者と協力するための「社会性」「敬意」「思いやり」「協調性」

◎情動を抑制するための「自尊心」「楽観性」「自信」「自己抑制力」

この力をしっかりと付けた子どもは、認知能力も上がり、大人になってからの成功が有意になされているそうです。そして、この非認知能力を付けるには乳幼児期から小学校低学年にかけての“育ち”が大きく関わっているそうです。遅くとも小学校時代の過ごし方、育ちが大切になってくるようです。この非認知能力は学校の目標である「自立と自律」と大きく関わっていますね。

では、これらの力を育むためには、何をどうしたらよいのでしょうか。その方法はいろいろありますが、その一つに「アタッチメント」ということがあるそうです。その「アタッチメント」について述べますので、子育ての参考にして下さい。

→裏面へ

アタッチメントとは

石川県「学びの態度」育成講習会

“お子さんの安全基地になっていますか

～子どもの「非認知的能力」を育むために家庭でできること～” より

- ・ 子育て・子育てに「たった一つの理想型」はない。なぜならば、子どもの親もみんな元来、一人ひとり違うから。それぞれの親子が置かれた生活状況も異なるから。
- ・ 「基本」だけを押さえて、あとは一人ひとりに個性的な子どもを活かしながら、親子が置かれた状況を現実的に見据えながら「それぞれの形」を創っていくべきもの
- ・ その「基本形」の一つがアタッチメント
- ・ 子どもは容易に怖がる・不安がる存在。そして、泣きながら身近な誰かにくっつくとする。くっついて安全感・安心感に浸ろうとする。
→アタッチメントとは、シンプルに怖いとき不安なときには、信頼できる大人にくっつくということ。安心すること。一日に何回も繰り返される至極当たり前のこと。
→しかし、怖いとき、不安なとき、くっつけない、無視されると、心と体に発達に暗い影を落とす・・・アタッチメントがいかに確実に安定して経験できるかが、生涯にわたる心身の健康な発達の鍵になる。
→いかに穏やかに一人でいられるようになるか
- ・ アタッチメントによる「安全の輪」を作ろう！
安全な基地から出発→いろいろなこと探索
→危機や危険に遭遇（本人にとってそう思うこと）
→ネガティブな情動経験（恐れ・不安・不満等）
→「確かな避難所（安全基地）へ（アタッチメント）→安全な基地から出発・・・
- ・ アタッチメントのなかで、例えば痛い時、大人も痛そうな顔をしたり、痛かったねと共感する、その子の鏡となり、共感することで「思いやり」が育つ。安全の輪の中で、ネガティブな経験をした時自分でなんとかしようとし、安全基地の大人に発信し、自分を立て直すことができることは、自律性・自己効力感・心のたくましさにつながる。



以上のような内容でした（一部ですが）。いかがでしょうか。非認知能力を身に付けることは、とても重要なことではないでしょうか。その能力の根幹は、自制心ではないでしょうか。考えてみると、学校で行う授業や活動をしっかりと行うことは、すべて非認知能力につながっていると思います。

これからも、子ども達がよりよく成長し、少しでも人間力の向上につながるよう職員一同、家庭や地域と一緒に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

※石川県教育委員会からの「お子さんの安全基地になっていますか」というパンフレットと一緒に配布しました。参考にして下さい。

